

苦渋の決断

「お田植感謝のタベ」は中止します

政府は新型コロナウイルス対策として東京、京都、大阪、兵庫に発令中の緊急事態宣言を月末まで延長し、愛知、福岡県計六都府県を七日に追加決定、十二日発令した。

収束を知らないコロナ禍に疲弊した住民は緊急事態宣言、まん延防止等々国の方針に逆らうまでではないと思うが、ゴールデンウィーク中の千枚田は兎にも角にも賑やかで、地域住民の生活圏まで脅かされる状態であった。

そもそも、四谷の千枚田は基本的には私有地であり、農業の生産の場であるが、あまりにも器量がよく、訪れる人々に余すなく癒しを与える好適な環境にあり、人気スポットになってしまった。

こんな状況の中、イベント「お田植感謝のタベ」もみんなで灯そう千枚田の開催は主催者側からみて、実施に踏み切る度胸はない。もしも参加者から感染者が出たら「身も蓋もない」し、つらい。

地域住民や参加者の安全を考えた結果、中止を決断した。

【棚田カードの配布一時休止】

農林水産省及び各都道府県で構成される「棚田カードプロジェクト



令和3年度 鞍掛山麓千枚田保存会総会

保存会総会は昨年につき終息がみえないコロナ禍のため書面議決(4月30日までの議決結果)で上程のすべてが可決了承された。

【基本方針】全国的な知名度を集めている「四谷の千枚田」を保存、保全活動としての各種事業、行事を引き続き実施し、農業振興と地域の活性化に向けての一助とすべく、下記事業計画を基本方針とする。

【具体的事業】

- ① 鞍掛山麓千枚田保存会総会の開催
- ② 第26回全国棚田(千枚田)サミット参加
- ③ 環境整備事業の推進
- ④ 保全に関する啓発活動・情報活動の推進
- ⑤ 国・県・市等関係機関との連絡調整
- ⑥ その他、保存活動に必要な事項の調査活動の実施
各種企業等関連行事への協力受け入れ体制の整備

【保存会の体制】

会長 小山舜二 副会長 高橋孝行 会計 松下 誠(事務局)
 理事 高橋伸治 夏目宏一 小山孝夫 稲熊富平 原田英史
 顧問 高橋庄一 今泉雅男
 会員 金古浩一 田中幸夫 今泉 徹 古田和男 今泉一憲 中村史樹
 小山傳次郎 小山秀夫 丸地典利 村雲伸一 原田武典 原田勇
 丸地光世 稲熊良隆 山中哲郎

チーム」では、棚田地域の活性化を促す広報ツールとして、全国三十一府県五十六地区の棚田を対象とした「棚田カード」を作成し、配布していたが、棚田カードの配布は新型コロナウイルスの感染症対策に関し、感染症拡大を防止する観点から配布を当面の間休止とする。

問い合わせ

愛知県農林水産事務所 建設課



代掻き&田植え

地元鳳来寺小学校五年生(十名)は校外学習の一環として一年間、稲作を通じた学習を行う。

すでに、五年生は四年生の冬、先輩の五年生と学習田の冬耕や恒例の田んぼ飛びのお馴染みで、児童たちから「おじさん、おじさん」(八十余の爺いだよ)とワイルドを期待しているようだ。



小さな田んぼで、備中や鍬など振り回して怪我でもしたら大変だ。そこで、写真のように円陣を組み素足

で練り歩くことにした。

児童たちは、始めは泥にキモイ(気持ち悪い)などと言っていたが、田んぼの泥は水虫にならないんだよ、などと冗談を飛ばすうちに、次第とエンジンがかかり、泥んこ遊びどころか、泥のぶっつけあい、挙句に、シユレーゲルアオガエルのように泳いだりと、これからの一年間、千枚田の学習に弾みがついたようだ。

J A 愛知東こども農学校

J A 愛知東が一年間の通年型の農業体験を通じて、こども達に「食」と「農」の大切さを教えるためくさ



あ！みんなと一緒に、ふるさと奥三河の大自然の中へ飛び出そう！をテーマにこども農学校を毎年開校している。こども農学校も今年度で十七年目を迎え、管内の子ども(大人も)達に大変人気がある。

五月八日、J A 愛知東こども農学校(五十七名)は四谷の千枚田でプロバスケットボール三遠ネオフェニックスの元選手・鹿島誠一郎さんも加わり、子供たちと田植えを行った。

指導する農協職員もこども農学校では先生であり、その十人ほどの先生は、班ごとに分かれた子供たちに、痛い腰を我慢しながらも必死に教えていた。

田植え 鳳来寺小学校

五月十三日、楽しかった代掻き(泥遊び)の余韻が覚めないのか、児童たちは、今日も何かを期待しているのかのように、瞳がいたづらっぽく輝いていた。

児童たちに、おコメの大切さや植え方などを指導。三つの田んぼに分かれて、慣れないながらも真剣に田植えを行った。

田植えが終わり、泥まみれの体や手足を洗う沢に入り、水をぶっかけ合うなどの遊びを楽しんだ。

田植え 豊橋調理製菓専門学校

同校は、平成十八年からすでに十六年の間、将来、「食のプロ」を目

指すその原点「コメ」の大切さについて、田植えから収穫(脱穀までの一連のコメ作りを体験している。



五月十三日、二十七名の学生は「ふれあい広場」から展望する千枚の水鏡に感動。愛知県新城設楽農林事務所建設課小河路課長の歓迎の挨拶に続き四谷の千枚田の概要説明を受け、学校の圃場まで一気に下り、二枚の田んぼの田植えを行った。

行 令和三年五月十五日

鞍掛山麓千枚田保存会

発 文 責 小山 舜二